

事務事業名	学校プール濾過器等改修事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	終了
H27担当課等名	学校教育課		H27係等名	学校施設係		H26係等名	学校施設係			
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり							
	施策	22	義務教育の充実							
目的	対象(誰・何を)	市内小中学校のプール				対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	安全で快適なプール環境を整備					プール施設がある小中学校数		28	
	向上させたい上位施策の成果指標	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合(%)					小中学校プール数		36	
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	実施済小中学校数 (全自動濾過装置設置校数)				24	25	25	26	
	定性目標									
事業概要	<p>○児童、生徒が安全で快適な教育環境下で水泳の授業が行えるよう老朽化プール施設の計画的な改修をする。                  現在小中学校合わせて33基のプール濾過装置があるが濾過装置の耐用年数(15年程度)からも順番に更新していくことが必要。                  プール本体についても昭和40年50年代に建築されたものが多く、順次改修をしていく。</p>									
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 追手町小の濾過器改修 2 伊賀良小学校、高陵中学校のプール塗装工事 3 次年度以降の塗装工事の計画  プール塗装を実施しないと目に異物が入る危険があるプールについては、濾過器改修より塗装を先行する事業とした。				濾過器改修工事 プール塗装工事			1校 2校		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		17,479	21,045	20,995	18,900					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		17,479	21,045	20,995	18,900					
人件費計(千円)②		858		858						
正規職員所要時間		240		240						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		18,337	21,045	21,853	18,900					
事業内容・目標達成状況の振り返り	本年度は、追手町小学校の濾過装置改修1基、高陵中プールと伊賀良小プールの防水塗装工事をおこない濾過装置のみに関わらず、本体の老朽化対応を行った。これは、プール塗装を実施しないと目に異物が入る危険があるプールについては、塗装工事を優先したものの。									
改革改善の考え方	①問題点	プールの消毒には、塩素などを使用するため、濾過装置の耐用年数は、15年と短い。								
	②改革提案	長期間使用できる製品が求められているので、技術改良等の製品情報収集に努めたい。								